

第68回日本小児神経学会学術集会

会長企画

# 最先端治療を“届ける”ために — 小児難治性神経疾患治療への挑戦 —

日時：2026年6月6日(土) 8:00～8:50

会場：ライトキューブ宇都宮・大会議室201

共催：日本小児神経学会・自治医科大学

コーヒー・手作り  
パン等あります

座長

自治医科大学 小坂 仁

近年、遺伝子治療などの最先端治療は、小児難治性神経疾患の分野でも大きく進歩しています。一方で、その治療を実際に子どもたちへ届けるには、医療体制や制度だけでなく、次の世代へ知識と志を受け渡していくことが欠かせません。

本企画では、遺伝子治療開発の経験を共有しながら、最先端治療を子どもたちに届けるために何が必要かを考えます。特に、学生や教育関係者の取り組みを通じて、臨床・研究・教育現場から、次世代に希望を託す取り組み を紹介します。

演者



自治医科大学 小坂 仁

日本発の治療を子どもたちに届ける  
～次世代とともに未来へ～



自治医科大学 小林 華林

AADC欠損症遺伝子治療の実際  
～治療導入とフォローアップの経験から～

Innovation for NEW HOPE\* 学生アンバサダー

学生が挑む！市民の疑問解決プロジェクト  
～最先端の治療法が届く社会を目指して～



流通経済大学附属柏中学校 兼 龍盛

次世代の挑戦：教育部門の視点から  
最先端治療を「届ける」ための教育の役割

多様なステークホルダーとの協働により最先端  
の治療法の社会実現を目指すプロジェクト  
(運営企業：アステラス製薬)